

## 世界遺産へ向けて

# 平泉寺世界遺産講演会2012のお知らせ

平成18年に始まった平泉寺の世界遺産登録を推進するため、講演会を開催します。

今回、講師としてお招きする滋賀県立大学の中井均先生は、日本を代表する城郭研究家です。先生は、城郭の石垣や縄張りに深い造詣をお持ちで、平泉寺の石積にも早くから注目されてきました。多くの城に見られる石垣は、もともと中世寺院のもっていた技術を戦国大名などの武士が自分の城に取り入れたものだというお考えを示されています。

また、近年は、城郭を活かしたまちづくりにも積極的に取り組んでおられます。

講演の終了後、福井大学特命教授で『勝山市史 通史編』を執筆された松浦義則先生と寺院や城郭、戦国大名などの視点から中世の越前と近江についてご対談いただきます。みなさまのご参加をお待ちしております。



昨年度の世界遺産講演会

**※入場無料・申し込み不要**

日時:2012年3月17日(土) 13:30~15:40

場所:勝山市教育会館1階ホール

講演:中井 均 氏 (滋賀県立大学准教授)

対談:中井 均 氏

松浦 義則 氏 (福井大学特命教授・平泉寺史跡調査整備指導委員)

ほっといっぶく **平泉寺こぼれ話 ~第31話~** 平泉寺からの出土品です。これは何でしょうか？

ヒント

- ①. 焼き物です。
- ②. 内面にクシで引いたような線が放射線状に付けられています。
- ③. 直径は約32cm (1尺) の大型品です。
- ④. 平泉寺が栄えた中世の頃のものです。

答えは最下段↓



答え:すり鉢です。食材をすりつぶしたり、砕いたりする調理具で、古くは「すり粉鉢」と呼ばれました。この鉢とセットで使われたのが、すり粉木です。

④

国史跡平泉寺の整備情報誌

# 平泉寺かわら版

No. 39 (2011年12月号)

【発行】

勝山市教育委員会史蹟整備課

【発行日】

平成23年12月22日

【ご意見・ご要望は下記まで】

電話:0779-88-8113(直通)

メール:shiseki@city.katsuyama.lg.jp

# 白山平泉寺歴史探遊館 まほろば

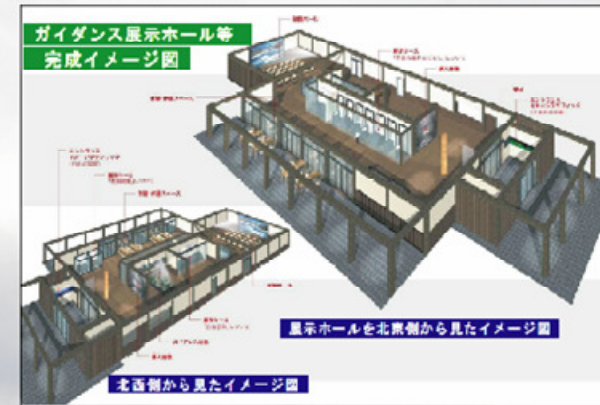
来年秋に平泉寺にオープンするガイダンス施設の愛称が「白山平泉寺歴史探遊館 まほろば」に決定しました。

“まほろば”とは「素晴らしい場所」「住みやすい場所」という意味の古い言葉です。今回、全国から計347点の応募作品があり、選考の結果、採用作品はありませんでしたが、下記の2点の作品を参考に愛称を決定しました。

梅川謙次さん(兵庫県神戸市)の作品「まほろば歴史館」

赤羽梧良さん(神奈川県川崎市)の作品「平泉寺まほろば館」

## 来年秋オープン予定!



白山平泉寺歴史探遊館 まほろば  
(平成23年12月 建設中)

①



# 白山文化フォーラム2011 日本の神々と仏



平泉寺をとりまく白山麓の文化を探り、その魅力を発信する白山文化フォーラムが11月26日に開催され、市内外から約120名の方にご参加いただきました。

11回目を迎える今回は、「日本の神々と仏」というテーマで白山信仰の成立以前の神と仏の関係に焦点をあてました。

神仏習合研究の権威である岐阜聖徳学園大学名誉教授の達日出典先生に「古代神祇祭祀の基本形態」と題して講演をいただきました。

古来より日本の人々は、神様を山に呼んできて、春の種まきには里に迎え、秋の収穫が終われば山に送るというまつりを行っていました。

このような農耕における神の居場所として、神社が発生していったとお話されました。



ご講演いただいた達先生



神仏習合を整理する笠松館長



達先生と堀学芸員

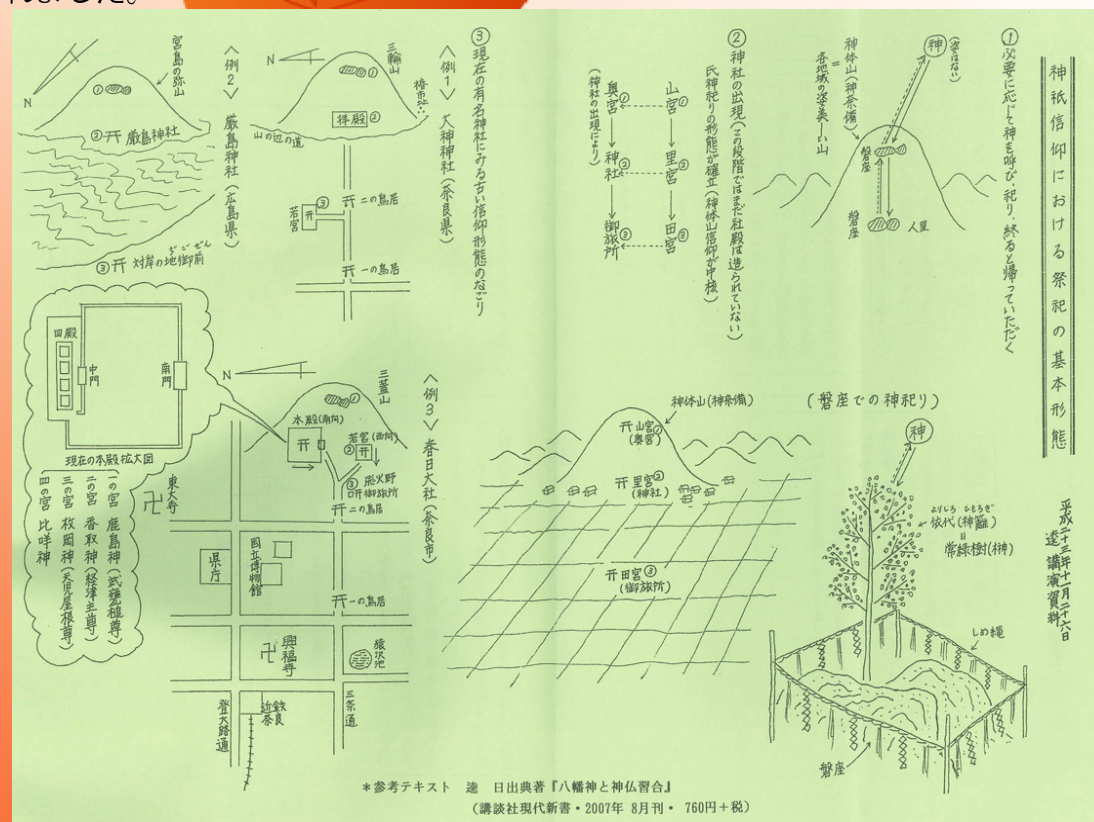
パネルディスカッションは、福井県立こども歴史文化館の笠松雅弘館長をコーディネーターとして行われました。

達先生と笠松館長は、神仏習合について解説するなかで、神社のなかに建てられた仏教の寺院である「神宮寺」に注目されました。この神宮寺の具体的な例として、越前町教育委員会の堀大介学芸員から織田劔神社神宮寺についての調査成果が報告されました。

今回のフォーラムによって白山信仰の成立以前の人々と神や仏教との関わりがわかりやすく整理されたのではないのでしょうか。

## 史跡見学会

白山文化フォーラム当日の午前中は、平泉寺の南谷発掘調査地で現地見学会が行われました。約70名の参加者は、現在勝山市の進めている発掘調査地と周辺の遺跡を見学し、坊院跡で発掘された迫力満点の石畳道と石積を解説を聞きながら巡って行きました。



\*参考テキスト 達 日出典著「八幡神と神仏習合」(講談社現代新書・2007年 8月刊・760円+税)



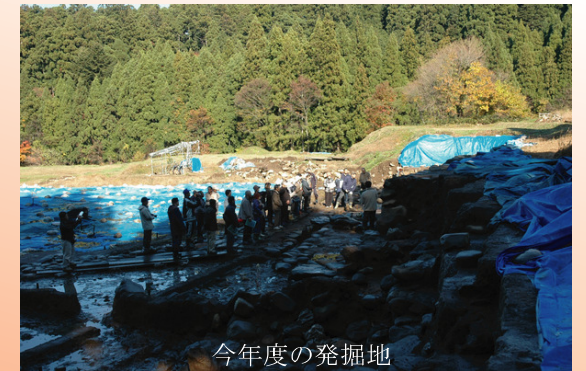
駐車場からスタート



若宮八幡



門塀復元予定地



今年度の発掘地